

櫻守の会

2022年9月号

2022年9月1日(通巻280号)
発行:櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄3-4-10-505
会員数 104名(8月25日現在)
HP : <https://www.sakuramori.net/>

初心を大切に

山下 康

櫻守の会に入れていただいてから、三年が経ちました。入会前、自然に関する知識と、山の中での体力には、ある程度自信を持っていたのですが、道具や機械を使うのが不得手なため、会に入っても役に立つかなと不安に思っていました。結局、今でも、特に作業の安全面について、先輩方の技を見て、自分の至らぬ点を反省し、次に生かそうと思う事の連続です。思っていた以上に奥が深いですね。

そんな私は、農学部林学科出身です。恥ずかしながら、森林や林業が好きというより、漠然としたイメージから林学科を選んで入学しました。場違いかも、と入学直後は不安だったのをよく覚えております。しかし、最初の学科の活動での、春の針広混交天然林との出会いが、私にとって大きなきっかけとなりました。落葉した広葉樹とスギが混じった森の中に、ポツン、ポツンと満開のヤマザクラが点在している姿。それを遠景として見た時、胸がうずき感動したのを忘れられません。以来、いろいろ浮き沈みがあったものの、森林好きをずっと続けているのは、原点としてのあの針広混交林のお陰です。感謝しております。

ところで、現代社会において、子供の自然離れが問題視されています。50代前半の私の子供時代でも似たような事は言われてきましたが、明らかに状況は加速しています。今ではそもそも親世代が自然体験をほとんどしていない。複数世代に渡って、自然離れが定着しているのが、日本の現況です。ただそんな彼らでも、桜が咲けば、興味を持ってくれる。近所の公園にソメイヨシノを見に行ったり、足を延ばして山の桜を見に行ったり、家族を連れて出掛けてきてくれる。自然離れが深刻な社会において、桜は自然への玄関口のの一つとしてとても貴重な存在です。もちろんほとんどの方は、花を見ただけで終わりでしょうけど、その中から桜以外の自然に興味を持つ子供や若者が少しでも出てきてくれたら、そう願ってやみません。



個人的に、櫻守として活動するにあたり、自然好きへの入り口を整備している、という意識を常に持ってそれぞれの森と向き合っています。私自身が18歳の時にヤマザクラの遠景に魅了されたように、活動地の桜をきっかけに自然を愛する人が増えてくれたらと、心の底から願っております。そんな願いを叶えるためにも、長くこの活動を続けていきたいです。参加回数が少ない分、一回一回を大切に頑張りますので、今後ともよろしく願いいたします。(写真は、9年前の武庫尾。遠景で桜を見るのが今でも好きです)

***** 目次 *****

- P1 序文：初心を大切に
- P2 2022年8月度活動実績表
- P2～5 活動報告：桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、廃線跡草刈
- P5～6 お知らせ・案内：運営委員会報告、自然観察会、西谷フォーラム、武庫川エコハイク、秋の環境体験学習
- P6～7 櫻守ひろば：サクラの雑学いろは 第12回、後退し消滅の危機にある氷河
- P8 活動予定表

＜2022年8月度 活動実績表＞

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
7月24日 (日)	桜の園(亦楽山荘) 21名	晴れ	(桜坂) 園路整備、常緑樹間伐	10
			(遠見の道・赤松植樹地手前) 園路両脇の枯松、枯木、笹、常緑低灌木伐採	11
7月26日 (火)	山手台(臨時) 13名	晴れ	(南斜面) 草刈り	8
			(山手台東1丁目道路法面) 雑木の除伐・間引き	5
7月29日 (金)	青葉台 14名	晴れ	(陽光広場) 草刈り	5
			(行者山登山路) 園路脇枯れ木の伐採、笹と雑草等の刈り取り	5
			(光が丘ルート) 階段追設と路肩の改修、入口付近の草刈りとツツジ等の剪定	4
8月1日 (月)	廃線跡 22名	晴れ	(廃線跡宝塚市側) 草刈り	22
8月3日 (水)	桜の園(亦楽山荘) 16名	晴れ	(桜坂) 園路整備、常緑樹間伐	8
			(遠見の道・赤松植樹地手前) 枯松伐採	8
8月7日 (日)	武庫山の森 21名	晴れ	(東側道沿い) フェンス沿いの草刈り	6
			(北側道沿い) フェンス沿いの草刈り	7
			(入口周辺と東広場) 刈払機で草刈り	4
			(東口) 案内板の設置	4
8月10日 (水)	ゆずり葉の森 14名	曇り後 晴れ	(ゆずり葉ピーク〜キツネの森) 県敷設木製階段改修、階段、路肩の改修 園路脇太い落下枝の処理	4
			(宝塚西高校グラウンド下平) ヤマザクラ、アカメガシワ、ネズミモチの間伐	5
			(コバミツバツツジの丘) 笹、低灌木、雑草の刈り取り	5
8月12日 (金)	桜の園(亦楽山荘) 12名	曇り後 晴れ	(親水広場) 枯コナラ伐採	5
			(親水広場) 階段補修、武庫川河原の草刈り	7
8月16日 (火)	山手台 15名	曇り	(山手台東1丁目道路法面) 雑木の除伐・間引き	8
			(アジサイロード) 公園の草刈り・雑木除伐、竹藪の除伐	7
8月20日 (土)	武庫山の森 15名	曇り	(東側道沿い) フェンス沿いの草刈り	8
			(東広場) 刈払機で草刈り、フェンス沿いの草刈り	7
延べ参加者数				163

＜活動報告＞

桜の園(亦楽山荘)

7/24(日) スギ板と鉄筋並びに作業道具を荷揚げし、桜坂上部の園路路肩を補修しました。「東屋」から少し下った斜面でアオキを中心とした常緑低灌木を間伐し、斜面全体が明るくなり、日差しも入るようになりました。遠見の道上方平坦部で枯れ松、枯れ木の伐採と園路両脇の笹・常緑低灌木の間伐を行いました。親水広場入口の階段1段目に7/6に撤去したはずのキイロスズメバチが再び営巣していました。ハチジェット噴射で撃退しましたが、生き残っている可能性もあるので、該当箇所をテープで囲い通行禁止にし、市に撤去を依頼しました。暑さ厳しく終了時間を通常より1時間早めて解散しました。



7/24 遠見の道での枯れ松玉切り

8/3 (水) 前回に引き続き桜坂上部の園路路肩の補修を行い、「東屋」からつづら折りの手前までが完成しました。厳しい作業であり、残りの路肩補修は、涼くなってから再開する予定です。「東屋」から少し下った斜面周辺の常緑低灌木の間伐も実施しました。遠見倉庫から赤松植樹地までチェーンソー等重い機材を分担して持ち上げ、胸高直径 30cm 強の枯れ松 2 本を伐採しました。玉切り及び枝処理に長時間を要しました。危険な暑さの中の作業となり、全員ギブアップ状態でした。



8/3 桜坂路肩補修



8/3 赤松植樹地枯れ松伐採

8/12(金) 暑さ対策のため親水広場周辺の整備に集中しました。以前より気になっていた親水広場横谷川対岸の枯コナラ (胸高直径 40cm 強) を伐採しました。急斜面で足場が悪く、命綱でホールドしながら安全な作業に努めました。伐採後の玉切り処理にも時間がかかりました。腐蝕し損耗の激しかった河原に下りる右側の階段を補修し、見違えるように立派になりました。広場の除草と河原に生い茂る葦の一部を刈取りました。左側の階段と葦刈取りは次回も継続の予定です。 (瀧本 記)



8/12 親水広場横谷川対岸枯コナラ伐採



8/12 親水広場階段補修



8/12 武庫川河原の葦刈取り

青葉台

天気予報では最高温度 34 度、急坂を上り活動地に辿り着くだけで大汗がでる青葉台とあって、参加者が大幅に減るのではと危惧しましたが、70 歳弱から 80 歳中頃まで 14 名の常連が参加頂きました。陽光広場、行者山登山路並びに光が丘ルートで、草刈、枯れ木の伐採、階段や路肩の改修等の整備を進め、参加者の過労を考慮して午前中で作業を終えました。 (加賀野 記)



光が丘ルート路肩の改修



陽光広場ベンチ付近の草刈



行者山登山路枯れ木の伐採と枝葉処理

ゆずり葉の森

風がなく、湿度が高い猛暑と予報されたため、午前中のみの作業と決めて取り掛かりました。コバノミツバツツジの丘と白瀬川広場では刈払い機 3 台と手鎌にて草刈を、宝塚西高校グラウンド下平では実生ヤマザクラや常緑樹の間伐を更に、ゆずり葉ピークからキツネの森に至る園路では階段と路肩の改修を行うと

ともに園路脇の太い落下枝の処理も行いました。本日もこまめな作業交代、給水、休憩で熱中症対策を取りながら、作業を進め全員無事に作業をおえることができました。
(加賀野 記)



コバノミツバツツジの丘でコナラとツツジを避けて、笹と雑草を刈取り



キツネの森に至る園路脇の太い落下枝の処理



宝塚西高校グラウンド下平は実生ヤマザクラや常緑樹の間伐でスッキリした

山手台

7/26 (火) 6月、7月の活動は2か月連続して雨天中止となったが、草刈りは放っておけないのでこの日を臨時の活動日としました。南斜面では、生い茂った草を3台の刈払機を使用してきれいにしました。他の班は、山手台東1丁目道路法面(今年6月から新たに活動地に加わった場所)の東端のフェンス内で雑木の除伐を行いました。なおこの日も非常に暑かったので、いつもより30分早く作業を始めて11時過ぎには早々に切り上げました。

8/16 (火) 天候は曇りで風もあったのでややしのぎやすかったが、それでも蒸し暑く十分汗をかきました。南斜面の草刈りは先月の臨時作業で一応のめどをつけたので、今日はアジサイロードの草刈りを実施しました。もう1班は、前回に引き続き山手台東1丁目道路法面の雑木の除伐を実施し、道路沿いがかなり明るくなりました。
(岡 記)



7/26 南斜面 繁茂した草の刈払い



8/16 アジサイロード 草刈り



8/16 明るくなったフェンス内

武庫山の森

8/7 (日) 集合時は曇っており作業がしやすいと思いきや夏の朝曇りで日差しの中の作業となりました。1班は東側道沿いのフェンスに絡んだ草を取り除く作業をしました。この夏はにわか雨が多く草の成長が真夏になっても止まらず、時間がかかりそうです。2班は北側道沿いのフェンスに絡んだ草を取り除く作業をしました。こちらも草の量が増えており、時間がかかりそうです。双方とも次回へ続きます。3班は入口付近の草刈りを刈払機で行いました。今年の刈払機講習会を受けた会員とベテラン会員が二人一組になって、しっかり実践経験をしていただきました。作業が捗ったので1台は東広場へ移動して作業を



8/7 東口の案内板設置

しました。4班は県に作成してもらったアルミ製の案内板を東口に設置しました。こちらも経験者と未経験者を組み合わせて作業をしました。次回以降に光ガ丘口にも案内板を設置します。

8/20(土) 炎天下ではないものの非常に蒸し暑い中での作業となりました。1班は東側道沿いの継続でフェンスに絡んだ草を取り除きました。もう少しで東広場まで届きそうですが次回に継続です。2班は東広場の草刈りを刈払機で行いました。今回も刈払機講習会を受けた会員とベテラン会員と一緒に草刈りをしました。こちらもフェンス沿いをしっかり草刈りすることで道からの見目が綺麗になり、森全体のイメージが良くなるのが期待されます。(横山 記)



8/20 東側道沿いの草刈り

廃線跡草刈

JRの運行トラブルによる時間遅れ運行や、乗り間違い(武田尾には快速が止まりません)で作業開始時間が少々遅れました。前回(5月23日)と同様に、梅雨と梅雨戻りによる大量の降雨と真夏の強い陽射しで順調に成長した草木が溢れる廃線跡で、4作業区域毎に作業のボリュームに応じて人員と刈払い機等の道具を割り振って作業しました。熱中症対策として給水と刈払い機作業の小まめな人員交代を行うとともに、平日ながら夏休み期間とあって散見されたハイカーさんの安全にも十分気を付けて作業しました。今回も前回同様昼食時間を設け、作業終了予定を午後1時半頃までとし、気持ちに余裕を持って、また午後には各班の進捗に合わせた他班への応援も行い、午後1時半に作業を終了しました。(加賀野 記)



展望広場で新人訓練込みで草刈



親水広場看板周辺の草刈

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告 (7月度)

代表 近藤 茂

2022年7月30日(土) 10:00~12:00 ぷらざこむ1

1. 新型コロナウイルス対応・・・現在第7波で感染者が増えているが、現行方針「緊急事態宣言中は活動を休止するが、それ以外の時は活動を行う。」を継続することを確認した。芋煮会を実施するかどうかは8月度運営委員会で決定する。
2. 公開講座・・・2023年2月4日(土)、講師に兵庫県立農林水産技術総合センターの主席研究員(兼 兵庫県立大学客員教授)の山瀬敬太郎氏をお迎えして「持続可能な里山整備」のテーマで開催することにした。詳細は後日連絡します。
3. 新人技能研修会(第2回目)・・・6月に実施した新人技能研修会(第1回目)に参加できなかった会員を対象に、10月に武庫山の森で開催する。受講対象者には9月初め頃に連絡します。
4. 各活動地の植樹基準・・・ある程度の方向性を出すことをできたが、委員全員が合意するには至らなかったため、検討を継続する。

自然観察会のお知らせ

事務局

自然観察会を下記の通り廃線跡で実施します。案内役は初登場の山下康さんです。ご期待ください。

- ・日時 2022年9月27日(火) 10:00 集合
- ・集合場所 僧川トイレ前
- ・ルート 廃線跡
- ・解散 12:00 予定

櫻守の会が西谷フォーラムに参加します

運営委員会

下記の要領で西谷フォーラム(生物多様性保全活動の仲間)が開催され、櫻守の会も参加します。

日時: 2022年10月1日(土) 10:00~15:30

場所: 西谷ふれあい夢プラザ(西谷会館) 宝塚市大字大原野炭屋1-1

主催: 丸山湿原エコミュージアム推進協議会(実施団体: 丸山湿原群保全の会)

参加団体: 櫻守の会、宝塚エコネット、やまもり山里、宝塚西谷の森公園、丸山湿原群保全の会

スケジュール: 午前 基調講演①丑丸敦史(神戸大学教授)「畔の上の草原~里草地」

基調講演②水田光雄(兵庫県生物学会)「未来へ繋げ西谷の植物たち」

午後...①参加5団体による活動報告 ②パネルディスカッション

参加費等: 無料、当日受付、定員150名(午前/午後のみ可)

※当初の年間スケジュールでは、10月1日は自然観察会の予定でしたが、当該フォーラムの計画が入ったため自然観察会を9月27日に変更しました。興味のある方はご参加ください。

「武庫川エコハイク」9月度活動予定

エコグループ・武庫川

■第184回「相野谷中分水界から大川瀬ダム」 健脚向き 約14km

日時: 9月10日(土) 集合場所: JR福知山線「相野駅」改札口 9時30分

今回は武庫川と加古川の分水界を歩きます

武庫川側と加古川側の段差を見てみましょう

★お願い: マスク着用で「三密状態」を防止する活動にご協力願います

コロナ感染症拡大予防対策で「中止」もあり得ますので最新の情報で確認ください

参加費: 100円(保険代、資料代) 申込み: 不要(当日集合場所にお越し下さい)

持ち物: 弁当、飲み物、雨具、 服装: ハイキングできる服装 帽子着用熱中症対策

*お問合せ: 携帯 090-7763-6763 (上田)

主催: エコグループ・武庫川 後援: 兵庫県(環境部 自然環境保全課)

URL: <http://ecomukogawa.web.fc2.com/> (武庫川エコハイクで検索)

秋の環境体験学習参加のお願い

事務局

逆瀬台小学校3年生の環境体験学習を実施します。皆様のご協力をお願いします。

児童数: 2クラス48名 担当: 上田威、大形、清水、瀧本

実施日: 11月22日(火)、予備日: 11月25日(金)

集合: ゆずり葉の森倉庫前の白瀬川広場 9時(12時過ぎに逆瀬台小学校で解散)

場所: ゆずり葉の森(小学校校門~白瀬川広場~ゆずり葉ピーク~キツネの森~小学校校門)

学習内容: 森の話、環境に関するクイズ、ノコギリ体験(ワッペン作り)、秋の自然観察など

※ご協力いただける方は以下のURLに記入ください(アカウント切替やgoogleアカウント登録は不要)。

<https://forms.gle/aaDm2AhWf88BGa4J6>

分からない場合は、メール又は活動日等に瀧本(takimoto.kouichi@sepia.plala.or.jp)まで連絡下さい。

サクラの雑学いろは 第12回 「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」

さくら守太郎

① 諺「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」の意味

ふたつの解釈があるようですが、いずれもマトを得た大切な戒めです。

説1) 桜の木の太い枝を切ると、芯材が外に露出した途端に腐朽菌感染率は跳ね上がり、腐って枯れてしまう確率が上がります。これが「桜切る馬鹿」の所以です。一方梅は腐朽菌に強いので樹形を整えるために剪定をこまめに行った方が良く、との事です。

説2) 桜と梅では花の付き方が異なります。桜の花は枝の先端に花芽が多く付きやすいため、一度剪定して新たに伸びた枝の途中には花が咲きません。一方梅は伸びた枝全体に直接花が咲くため、刈り込んで新しい枝を伸ばした方が多くの花が咲きます。桜は古い枝を大切にしていないと全く花が咲かないため「桜切る馬鹿」、梅は積極的に剪定し新しい枝を伸ばした方が良く、「梅切らぬ馬鹿」という訳です。

② サクラは剪定しない方が良いのか？

- ・答えは、積極的に剪定すべきが正解です。庭にサクラを植える方が多いですが、敷地外に枝が出ているのをそのままにしておくことは迷惑なので、剪定をしなければなりません。芯切りして、中の枝を落として風通しを良くして樹形を整えると、栄養分が行きわたり病虫害に強くなり寿命を延ばします。
- ・剪定時の注意として、太い枝を切った場合は切り口に「トップジンMペースト」などの防腐殺菌剤を塗布することです。笹部氏は自書の中に「切り口にコールタールを塗った。」と書いています。

③ 高級サクランボ“佐藤錦”は剪定作業が必須

“佐藤錦”の作り方の一例・・・大きな温室（ビニールハウス）の中で下記の方法で作ります。

- ・佐藤錦の苗だけでは受粉しないので、ハウス内に、佐藤錦苗8：ナポレオンなど他品種のサクランボ苗2、の割合で植えます。
- ・2月ごろから剪定を行い、枝一本一本が日光にあたるように、また実が付き過ぎないように無駄な枝を落とします。選定は必須の作業です。
- ・3月下旬ごろになると蕾がぷっくりと膨れてきます。この時期に余計な蕾を落として大粒のサクランボにします。有機肥料など自然に近い栄養のある肥料を与えて土壌づくりを行います。
- ・開花時期にはマメコバチやミツバチを飛ばして受粉させるか手作業による受粉をします。
- ・6月上旬ごろに実が赤く色づきだします。ちょうど梅雨時にあたるために実割れを防ぐための屋根の部分のビニールの覆い、また鳥から実を守るための対策も必要です。



後退し消滅の危機にある氷河

瀧本 浩一

イタリアのドロミテ山系マルモラーダ山 (3,300m) で7月初旬氷河の一部が崩落し、登山者が死傷するという痛ましい事故があった。現地では前日の気温が 10℃近くに達していたらしい。温暖化により世界各地で氷河が後退し消滅の危機にある。2017年にオーストリア最高峰グロースグロックナー(3,797m)のパステルツェ氷河を歩いた。1993年には谷を降りるとすぐに氷河末端まで行けたのに年々後退が続き、2km近く延々と歩かなければならない。いまだに温暖化の事実を認めようとしない輩も多数いるが、自分の脚で歩いてみると恐ろしさがよく分かる。

世界各地で異常気象がみられる。欧州では多くの河川が干上がり、森林火災が発生している。オーストラリア東海岸でも洪水被害、中国の長江流域やアメリカでも干ばつが深刻だ。温暖化により蒸発した水蒸気は必ず地上に降ってくる。集中豪雨の頻度やそれに伴う雨量も増加する。大変な時代になったものだ。



パステルツェ氷河 こんなに氷河が後退している
右下の看板が1980年の氷河末端

< 活動予定表 >

9月		場所等	10月		場所等
9月 1日	木	ゆずり葉の森	10月 2日	日	武庫山の森
9月 4日	日	武庫山の森	10月 5日	水	桜の園(亦楽山荘)
9月 9日	金	桜の園(亦楽山荘)	10月 10日	火	ゆずり葉の森
9月 14日	水	桜の園(亦楽山荘)	10月 13日	木	桜の園(亦楽山荘)
9月 17日	土	武庫山の森	10月 15日	土	武庫山の森
9月 20日	火	山手台	10月 18日	火	山手台
9月 24日	土	会報印刷・運営委員会	10月 21日	金	廃線跡草刈り
9月 25日	日	桜の園(亦楽山荘)	10月 23日	日	桜の園(亦楽山荘)
9月 27日	火	自然観察会	10月 26日	水	青葉台
9月 30日	金	青葉台	10月 29日	土	会報印刷・運営委員会
			10月 31日	月	廃線跡草刈り(予備日)

集合時間：桜の園（亦楽山荘） 親水広場9時50分、武庫山の森9時50分、他の3活動地は9時30分。
天 候：当日朝 6時55分NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60%以上の時は中止します。

<編集後記> 第104回夏の甲子園大会は仙台育英高校が初優勝、東北勢の優勝は春夏を通じて初めてらしい。猛暑の大会となり、一回戦から脚がつる選手が続出し、担架で運ばれる選手もいた。日頃鍛えている若い高校生ですら、炎天下の試合は大変だった。

「まだまだ若い」「熱中症なんて他人事」と自惚れていた私もこの夏に熱中症の恐ろしさを体験、命にかかわる危険な暑さというのが身に染みて分かった。

- ① こまめな休憩と給水（水分+ナトリウムの補充）
- ② 歳を考えて無理は禁物
- ③ 日頃の節制（二日酔い厳禁）
- ④ 熱中症警戒アラートに注意（高温・多湿・強烈な日差し）

もうしばらく湿気たっぷりでムシムシする日が続きそう。熱中症に注意しながら辛抱しましょう。（瀧本 記）